

自然共生研究プログラム

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	このプログラムでは、厳選された研究テーマにじっくり取り組み、良い成果が着実に上がっていることを高く評価する。誌上発表、口頭発表ともに成果が多く、年度計画に沿って、特筆すべき成果を上げていることが評価される。	ご評価いただきありがとうございます。さらなる成果を上げられるよう、研究を推進します。
	研究成果の解釈するかについては、もう少し客観的な目線も必要。例えば、耕作放棄地について管理コストを減らせる形で人と自然の共生系の提示にも繋げられると良い。	コメントをいただきありがとうございます。現状評価から、生態系管理に向けた成果を出せるようご指摘いただいた点を念頭に進めます。
	特筆すべき成果を上げている一方で、非常に幅広い分野横断型の研究であるため、第5期の終わりに研究プロジェクト全体として目指す全体像が見えにくい。	生物多様性の保全と持続的利用に関して、生物多様性の危機要因の低減など各場面での保全策、活用策を明らかにすることと、それらと社会経済など他分野を統合し、社会変革へとつながる成果を目指しております。
今後への期待など	太陽光発電の導入拡大と絶滅危惧植物の保全に関し、気候危機対応イニシアティブを介して他のプログラムと情報共有が進められており、環境政策に直接関与する環境研としての良い成果が期待される。また、生物多様性と脱炭素との両立を図る統合評価モデルの構築にも取りむとのことに期待する。	ご期待に沿えるよう、引き続き研究を推進します。
	野生生物感染症に関し、野生生物が保持する感染症ウイルスの網羅的解析事業も開始したとのことで、今後の発展を期待する。	ご期待に沿えるよう、引き続き研究を推進します。
	自然と人間の共生は多くの人に興味深いテーマであり、成果を多く発信すると良い。市民科学プロジェクトは小中高生にも興味深いテーマであるので、是非若い世代に研究の面白さを伝えるイベントも強化すると良い。	コメントありがとうございます。NGO (IUCN 日本委員会) と協定を結んでおり、NGO の方々との連携も行いながら次世代育成に貢献いたします。